

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

当院における婦人科疾患患者の治療実態および 背景因子、予後因子に関する調査研究

1. 研究の対象

2006年1月1日から2024年5月31日までの間に、当院産婦人科で婦人科疾患の診断を受け診療が行われた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から2029年3月31日まで

3. 研究目的・方法

目的：当院通院中の婦人科疾患の患者さんにおける治療内容や治療経過の実態を把握し、その背景や予後に関連する因子の検討を行います。

方法：この研究に使用する情報として、診療情報から項目4に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、「氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、妊娠分娩歴、月経歴、既往歴、合併症、家族歴、生活習慣、身長、体重、BMI、主訴、診療経過、検査所見（内診所見、細胞診・組織診、コルポスコピー所見、画像検査所見、血液検査所見、バイタルサイン）、病理性的所見（組織診断、免疫組織化学検査、腫瘍遺伝学的検査、進行期）、治療・転帰（初回治療内容、手術術式・内容、治療開始日、治療終了日、再発の有無、再発確認日、再発治療内容、生存の有無、最終生存確認日、治療奏効、有害事象、併発症）

試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

他の研究機関への情報の提供はありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は特定企業等からの資金提供はないため、開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：6431）

研究責任者 産婦人科 野村 弘行

問い合わせ担当者 産婦人科 野村 弘行